

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	○	これから発行する機関紙や地域向けの新聞等に掲載するなどしてホームの取り組み内容や理念を理解してもらえるよう取り組んでいく。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	普通の家庭とは違う、認知症のお年寄りの施設…というように捉えられがちなのか、近所の方が遊びに来られるという事はまだまだ少ない。今後も色々な行事に参加し、まず知ってもらう事から始め、少しずつ互いに行き来しあえる関係作りに努めて行きたい。また、ホームで開催するボランティアさんによる習い事教室(例えばお習字等)を実施する際には地域のお年寄り等の参加も募りたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	少しずつ地域に出て行くことで、ホームを知ってもらい、認知症についての理解を深めて行ってほしい。その為には、介護度の軽い方から少しずつ地域に解け込んでいき、最後には全体

グループホームさくら

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>ホームに入所されている方々が地域で安心して暮らして行く為に、地域の方々に認知症を理解して頂けるよう、認知症についての勉強会や地域向けのホームの新聞を作成予定なので、それに記事を載せていく等出きるところからはじめていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		<p>食事を皆で一緒に食べている</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>これから先必要となるかもしれない、もしくは必要でなくても知識として学んでおく方が良いので、研修会がある時には参加していきたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>積極的に研修会等に参加し、スタッフ全体での虐待への知識を共有し、虐待防止に努めたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	重要事項説明書、契約書など読み上げ、説明を行っている。その際不安な点や、質問があれば聞き納得いくようお話をしている。	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見や不満、苦情など直接管理者やスタッフに寄せられる場合が多く、特別な機会は設けていないが苦情に対し、ホーム内の会議等で話し合い可能な限り希望に添えるよう努めている	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月ご家族の方には1ヶ月間の日常の様子や外出した事の報告、そのときの様子、病院受診や往診の様子、入居者の担当が変更になった旨など”おたより”という形で全入居者のご家族へ送付している。また、3ヶ月に一回機関紙の発行もしており、スタッフの退職などの紹介やホームでの暮らしぶり等を載せている。	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	13と同様で機会は設けていない。しかし寄せられた苦情等をホームのスタッフ全体で把握し、可能であれば改善出来るように努めている。	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	月に一回の一斉会議の場を、運営や入居者に関する事など職員の意見や提案を聞く機会としている。	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	柔軟な対応を行い、勤務の調整等行っている。(例えば…いつも御家族が病院受診の付き添いをされる方で、ご家族の都合が悪くなった場合にはホームで付き添いを行ったり、ご家族の要望からご家族と一緒に主治医のお話を聞くため病院に足を運んだりしている)	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	出来る限り努力している	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会などに参加させたり、資格取得には協力的である	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者とではないが、同じ系列の他施設の管理者やスタッフなどと交流する機会を持ったりしている。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	可能な限りスタッフの意見を聞いている。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	行なっている	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前には見学をしてもったり入所の契約時にはお宅へ伺うなどしてご本人がどんな所で生活されていたのか等を把握するようにしている。一対一でお話する事で、抱えておられる不安や悲しみ等を知り、ご本人の想いを理解するよう努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学の際には、現在の状況等を聞き困っている事や不安なことを聞くよう努めている。入所後はゆっくりと時間をとってお話する機会がなかなかもないのが現状であるが、希望に合わせて(ホームへ来られた際に相談に乗ったり等)対応はしている。	

グループホームさくら

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		
26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	○	<p>地域密着型になったことで、馴染みの場所がそれほど遠くはなくなって行く事と思う。スタッフの人数的余裕も必要ではあるが、散歩をしながら以前住んでいた近所を周ったり、馴染みの人と会ってお話したり出来るようにしていきたい。</p>
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	退所後、ホームで生活されていた時に写した写真をアルバムにして送ったり、その後の様子を電話で聞いたり、年賀状のやりとりをしたりしている。(しかし、年賀状等はスタッフの入れ替わりで継続しての実施が難しい状態ではある。)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	本人や家族からお話を聞き、希望や意向の把握を行っている。	○
34	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	入所時に本人またはご家族から聴取したり、その時間聞き取れない部分に関しては、ホームで生活する中で新たにお聞きする事もある。少しでも多く把握出来るよう聞いたことは書き残し、その人を知る為スタッフ間での共有も行っている。	
35	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	現状を把握するよう努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人または家族の方との会話の中で希望、要望となり得る事を聞いた際はそれを活かしている。又、介護計画の作成に当たり家族と直接相談したり、必要に応じては主治医から助言をもらったりしている。	
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	状態に変化があり尚且つ計画の継続が難しい場合、本人の状態に合っていないと判断した場合には、必要に応じて見直しをし、可能な方は本人と相談したり、家族等にお話する等して対応している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	良い反応が返ってきたときの声の掛け方や対応の内容を記入したり、いつもと様子が違っている事柄などを記入している。スタッフ同士他のスタッフが記入した記録を読み内容の共有も行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家庭的な雰囲気、小規模という点から個々に買い物の希望があったりする場合には個々の希望に合わせて買い物に出掛けたり、ご家族等との外出も特に時間の制限など設けず自由に会えるよう柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行事の際地域の民生委員さん等にボランティアとして参加をお願いしたりしている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要性がある方はおらず、他のサービス利用の為の支援は行っていない。退所せざるを得ない状況にある場合で他のサービスの利用が必要な方は必要性に応じて対応している。ホーム外の人と関わりを持つ必要性の高い方に関しては地域の老人福祉センターへ定期的に行くよう援助している。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現段階で必要性はなく行っていない。		
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームとして提携している病院以外の病院へ受診される方に関しては、基本的にご家族が付き添われる事が殆どで全員のかかりつけ医とホームとの関係を築く事は出来ていない。	○	ホームが提携している病院でない病院へ家族付き添いで受診される方の中にも、必要に応じてスタッフも同行し受診内容を聞いたりしている。一人だけでなく、可能な限り同行させて頂き、ご家族と医療機関とホームとで本人を支えながら支援していけるよう努めていきたい。

グループホームさくら

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>提携先の主治医は内科の医師である為、認知症に関する専門医ではないが、他のグループホームにも往診等行かれており、認知症には詳しいと判断している。しかし、認知症状に関する専門的な診断や治療は行えていない。</p>	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>スタッフとして看護師を配置しており、定期的に入居者の方々の健康チェック等を行っている。</p>	
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>見舞いの際に病院の看護師から様子を聞いたり、サマリなどの情報を得る事で本人の状態の把握に努めている。</p>	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期、看取りに関する指針を家族の方には伝えたえ了解を得ている。これまでに指針に沿って終末期を迎えた方はいない。</p>	
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>医師や看護師と相談し連携を蜜にするよう心がけている。</p>	
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>実際このような場面を体験した事が無いので、対応もしていない。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	一人一人その時の様子に合わせた声のトーンであったり、会話の仕方を心掛けている。記録に関してはリビングで書くときには、名前が見えないように配慮している。	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	ホームから出たいという希望が多く、納得できないまま暮らしている人もいる。多数の人がいるリビングでお話しづらそうな時には居室へ戻り一対一でお話を聞いている。	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	可能な限り行っている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	朝の洗面時には身だしなみを整えて頂けるようくしを目の前に置くなど配慮している。美容院に関しては、望む店が特に無い為、近くの美容院に出掛け顔馴染みになっている方もいる。	
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	食事の準備や後片付けなど入居者の方々と一緒に行っている。一人一人の噛む力に合わせて刻み対応も行っている。食事は大目にしてはいるが、ご飯が少ないと不満をもらすお年寄もいる。	
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	決められた量のタバコなど吸っていただいているが、それ以上に訴えがあり無理な事を説明しても落ち込んだり怒ったりするので対応が難しい。「金銭的な理由から我慢してもらわなくてはいけない」状況も沢山ある。	○ 本人が望むよう対応する為にはどのようにすればよいか、スタッフ全体で考える時間を取りたい。

グループホームさくら

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		

グループホームさくら

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> <p>希望があれば、電話は利用して頂いている。手紙は文章や漢字の見直しをして欲しいと希望される事があり、コミュニケーションの一環として行っている。</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p> <p>本人と家族の方との会話においてかみ合わない状態などが起こったときには、間にはいりお互いが気持ちよくすごせた医</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	○	今ある知識の中で取り組んでいるが新たな知識を身につけるために研修に参加し全スタッフ間で共有して行きたい。
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> <p>弊害は理解しているが、表の門だけは交通量の多い国道沿いであるため、安全性を優先し家族了解のもと鍵を閉めている。しかし、スタッフは常時鍵を携帯し、いつでも開けられる状態ではある。入居者の方で、他者が勝手に部屋に入ってくるからという理由から内から鍵を掛けてしまわれる方がいる。</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> <p>さりげない声掛けや態度で所在や様子の把握に努めている。また、外出時にも連絡先などを事前に聞き把握に努めている。</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> <p>どうすれば、危険を防げるかをまず考えながらスタッフが注意する対応を行っている。</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> <p>個別の介護計画や統一事項において、一人ひとりの状態に合わせて注意すべき点などの把握に努めているが、知識においてはスタッフにより差があると感じる。</p>	○	今ある知識の中で取り組んでいるが新たな知識を身につけるために研修に参加し全スタッフ間で共有して行きたい。

グループホームさくら

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>消防署から指導に来てもらい、訓練を受けたことがある。ここ1年のうちには実施できていない。</p>	<p>○</p> <p>スタッフが入れ替わっていることもあり、消防署から再度指導に来てもらい、訓練の実施を行いたい。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時の避難訓練は行っている。運営推進会議等で、災害時の協力をお願いはしている物の、具体的に協力となるとまだ難しい部分がある。</p>	<p>○</p> <p>災害時に協力をお願いする為にも、少しでも地域の方々にホームの存在を知っていただきたい。その為にも地域行事などへ積極的に出て行き、認知症のお年寄りが住んでいる場所があるということを認識してもらえよう努めていく。</p>
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>ホームに頻繁に来ていただけたご家族に関しては、相談できているが、そうでないご家族とはなかなか話す機会を持っていない。</p>	<p>○</p> <p>入所後少しずつレベルが低下していく事の実情やそこから起こり得るリスクについて少しずつお話しする時間を作り対応していきたい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>申し送り時に報告したり、記録に記載している。休み明けのスタッフも記録を参照する事で情報を共有している。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬に際しては何故その薬を飲むのかを理解して援助するように、新しいスタッフには簡単に口頭で説明すると共に、薬の効能書き等に目を通すよう指導を行っている。</p>	<p>○</p> <p>職員により理解度に差があるように感じるので、ホーム内の研修会として誰がどんな薬を飲んでいるのか等勉強会をし周知していきたい。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>入居者にも説明し、水分を普段より多く摂ってもらったり、一日一回皆で体操をすることで体を動かす時間を作っている。また、献立も野菜を多く取り入れるよう心がけている。果物で排便を図る方もおられるが、緩下剤を使用されている方もいる。</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>必要に応じて、毎食後の口腔ケアを実施している。また、歯科への受診や毎晩の義歯消毒等により、口腔内の清潔に努めている。</p>	<p>○</p> <p>口腔ケアに関する研修会に参加するなどして、より知識を高めて行きたい。</p>

グループホームさくら

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>			
<p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	○	<p>園芸係りを作る等して、継続して植木・花等の世話を全スタッフが入居者と共に毎日の日課として取り組めるようにしていきたい。看板が劣化してきているので、もっと目に映りやすいものを掲げていきたい。</p>
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		

グループホームさくら

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用されていた家具を持って来てもらうよう入所が決定した時点でお話させてもらっている。</p>	
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>寒がりな人や暑がりな人様々で全員が満足できているかどうかは分からないが配慮し対応している。</p>	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ハード面を改修する事は難しいが、バスボードの利用や滑り止め具の利用により安全を図っている。</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>親身になって個別でお話をする時間をつくり、混乱や不安、失敗を防いでいる。また、思い出したり、思いついたり出来るように出来るだけさりげないヒントを出すように声を掛けている。</p>	
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>庭にお花を植えたり、畑にネギなどの簡単な野菜を植えることで成長を楽しんでいる。また、イチジクなどの実のなる木があるので、時期になったら皆で一緒に取っている。</p>	

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホームさくら

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

理念にもあげているように、心生きいき心楽しくその人らしく居られる様にスタッフは出来るだけさりげない声掛けや対応を心がけ、入居者の方々の日々の生活を支えている。可能な限り、希望の場所への外出を行い、ホームでの生活を不自由と思われないように配慮している。